

ブルースター



この学年通信の名前は2組の[]が考えてくれました。この青学年が星のように輝き、学校を引っ張っていただけますように。そしてブルースターはメインの花ではなくて、脇役的な存在。輝くだけでなく、裏でも支えていける学年になりますように…。花言葉は「信じあう心」。クラスメイトを信じながら、行事や受験に向かって進んでいただけますように…。という思いが込められています。

運動会を終えて

【3組】 [] 『運動会を終えて』

3年3組で迎えた中学校生活最後の運動会は準優勝で終わった。自分としては中学校生活で初めての賞でとても嬉しかったけれど、やはりクラスメイト一人一人が優勝を目指してただけあって少なからず悔しさはあった。しかし、悔いはひとつも残っていない。なぜならオールスターリレー、大ムカデ、選抜リレーという全ての競技をやり切ることが出来たからだ。特に大ムカデの練習では、最初はかけ声を出す人が限られていたり、足が全然合わなかったりと上手く行かずにチョットした言い合いになっていたけれど、練習を積み重ねていくにつれてクラスの絆が深まっていき、クラスの全員が大ムカデで1位を取るために団結していった。外が雨で練習できない時は、体育館という小さな空間で熱心に練習して、男女でアドバイスを出し合って協力し合っていた。オールスターリレーでも、クラスの全員が走っている人に声援を送っていていい雰囲気だった。本番前日の学活では、運動会実行委員が一人一人にメッセージを書いてくれて、本番を前に緊張していた自分がいたけれど、優勝するんだと心の中で決心出来た。選抜リレーではクラスの中から代表として選ばれて走る競技だったのでとても緊張したし、走りたくないと思っていたけれど、運動会実行委員に貰ったメッセージに『選抜リレーかましてこい』という言葉が胸に思いっきりやり抜くことが出来た。運動会が終わったあとの終学活では、みんな清々しい顔で先生の話聞いていて、これまで一生懸命練習してきた良かったと思ったり、次の行事である文化祭では絶対に優勝するんだという気持ちになれた。終学活の先生の話にもあったように、結果は後からついてくるものだから、その過程が一番大事であるとの運動会を通して学んだ。

この運動会を機に、クラスで団結することが出来た経験を生かして、残り少ない学校生活を送っていききたいと思う。

【3組】 [] 『燃やしきった運動会』

中学校生活最後、そしてこのクラスでは最初で最後、学年では最後の運動会でした。私は運動会実行委員として自覚を持ち、このクラスで、この学年でみんながみんな『楽しかった』と言える運動会にしようと思えました。

運動会について決めることが沢山あり、練習も少しずつ本格的になってきました。練習では先頭をきいて話をし、上手く伝えられずみんなを混乱させてしまったことが何度もあり、クラス代表としてしっかりできていないと思う場面も何度かありました。ですが、そんな時でも真剣に話を聞いてくれたり、一緒になって話を周りに説明してくれたり、とても暖かい雰囲気でも元気を貰いました。

『ピーピッ』行進の合図とともに運動会は開幕しました。私は運動会をみんなが『楽しかったね』と言えるようなものにしたいという思いでやってきました。みんなにも私の思いはしっかりと伝えました。オールスターは、みんなが一生懸命走って、終わった後も一生懸命応援していました。私はそのみんなの姿に、自分が走って応援してもらっている訳でもないけれど、とっても嬉しかったです。大ムカデでは、女子1位で男子にタスキを繋ごうとする気持ちと、何度でも心をついに走る男子とで圧倒されました。また、毎年恒例の女子が男子の近くに行き応援することも、ただやりたいからではなく、本気で駆け寄り、本気で応援する、そんな姿が見られました。このような雰囲気にしてくれたのは、クラスのみんな、学年のみんなでもあるし、盛り上げようとしてきた実行委員でもあり、良い運動会にしようとして取り組んでくれた先生、地域の方々のおかげだと思います。一人一人が嫌な感じを出すことなく、真

剣に取り組んでこそ最高、燃やしきれぬ運動会になれるんだなと強く感じました。

【4組】 ■■■■■ 『最後の運動会』

自分は松五で最後の運動会が終わって思ったことは、このクラスで良かったなということです。自分がなぜそう思ったかという、理由は3つあります。

一つ目は、大ムカデやオールスターなどの種目をとて楽しく出来たことです。オールスターリレーは本番2位じゃないと優勝や準優勝が狙えない状況で、結果的に1組に負けてしまって3位になってしまいましたが、みんながリレーで走っている人を応援していて、抜かれてしまった人なども責めずにいい雰囲気で行われました。大ムカデでは男子が3組、2組とほぼ同列でスタートして、その2組のクラスを抜いて、途中で転びそうになったけれど持ち直して走り切れてとても嬉しかったです。

二つ目は、4組の雰囲気がとても好きだったからです。前文でも書きましたが、オールスターリレーで3位になってしまった後も『大ムカデで1位になれば行ける』とか励ましの言葉をかけあっていて、いいクラスだなと思いました。

三つ目は、■■■■さんや須藤が運動会実行委員としてクラスを支えてくれたからです。■■■■は本番に自分はちいかわの写真だったけれど、一人一人にメッセージカードを配っていたり、■■■■さんもメッセージカードを配ってくれて、■■■■の真の力を見せてやれとか書かれていました、とても助かりました。

黒板アートで俺が掛かれていた件など色んなことがあったけれど、4組の一員で運動会が出来たことがとても良かったです。文化祭は1位で終われるように頑張りたいです。

【4組】 ■■■■■ 『努力』

中学校生活最後の運動会。楽しいことだらけだったので、嫌なこともポジティブに書いていきたいと思います。

僕は2年生の頃、50メートル走の記録でクラス内上位4名に入れず補欠になりました。■■■■に帰り道『お前、遅いなあ〜(笑)』と、バチクソにあおられ、来年はこいつより早くなってやると秘かに誓いました。その為に『走りの学校』という、走り方やコツをしてくれるYouTubeチャンネルを見つけました。走りの全てはスタートの一步で決まることや、足の回転させる位置は前など、今まで意識していなかったことを意識したり、週3回朝に5分間の走りのための筋トレを続けたりしてみました。まあ、やり始めたのは2年生の終わりの頃からですが、でも、続けてみると効果が出てきた感じがしました。サッカーでもスピード負けしなくなり、自信がついてきました。そして効果が出てきたことで調子になり、オフの日にはマンションの周りをスプリントするという奇行に出たこともありました。そうしてストイック感を感じて生活しているうちに計測の日が来ました。結果は6,6秒。自分でも信じられなかった。周りは■■■■先生の計測ミスだろうとか言ってきたけれど、3回計って平均6,6秒。黙らせた。最高に気持ちよかった。■■■■よりも0,1秒速かった。あいつは文句を言ってきたが気にしない。自信に満ち溢れていた。本番でもやってやると意気込んでいた。でも結果は俺のせいで4位。りひとの作戦勝ちだ。あれは途中まで温存していた。普通に泣いた。だって悔しいもん。地道に努力してきて俺のせいで4位とか。でも、あのりひとといい勝負できてた。そこは嬉しかった。1年前じゃ歯が立たなかったのに。今回の運動会は悔しいけど嬉しかった。努力が報われる感じを大切にこの1年頑張りたいと思う。

※文中の『しゅうご』 ■■■■■ 『りひと』 ■■■■■を意味すると思われます。■■■■の文章の空気感を損ないたくなかったので、出来るだけ原文に近い表記で掲載しました。

編集後記

運動会当日、大ムカデの前に学年主任として少しだけ話をしました。他の先生方のように盛り上げるのが下手くそでごめんね。1年生の時からみんな運動会を楽しんでくれました。それも、今回でおしまいです。そんな思いがこみ上げてきて大ムカデのスタートの号令をしながら涙が出てきました。歳は取りたくないもんだ。予行だったか練習だったかで腕を骨折して1年の時は土居がリレーに出なかった。最後にやり切れてよかった。■■■■さんが言うように、嫌な雰囲気を出す人がいない。真剣に取り組む。本当に大切だね。運動会実行委員からの一人一人へのメッセージ。嬉しいね。3年生としての姿を見せられたかな？不平不満は言わなかったかな？残り10ヶ月。みんなの成長に期待してます。最後に笑って卒業できますように。